

藤沢市 令和元年度事務事業評価シート(平成30年度分)

事務事業名	都市親善費										担当課	部課名	企画政策部人権男女共同平和課			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	細目	010	説明	01	課等の長	西山 勝弘	電話	2133

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 34 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	姉妹友好都市を中心とした海外諸都市等との友好関係を深めるとともに、市民の国際理解推進を図るため、都市親善交流を行う。 ①姉妹友好都市等との親善事業 ②聶耳記念碑に関する事業 ③ふじさわ国際交流フェスティバルの開催						
事業目的および必要性	市民、関係団体、企業、大学などと連携・協働し、姉妹友好都市をはじめとする海外諸都市等との親善交流や産業・経済・スポーツなど様々な分野での目的別国際交流を推進する。 当該事業は、都市間の国際親善交流はもとより、市民や関係団体等民間レベルでの交流を深めていくうえで必要な事業である。						
対象	1. 個人	市民					429,317 人
根拠法令等							
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 藤沢市都市親善委員会, ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会) (委託等内容: 姉妹友好都市等との親善交流に関する業務, ふじさわ国際交流フェスティバルの開催) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金: 聶耳記念碑保存会) <input type="checkbox"/> その他 ()						
藤沢市市政運営の総合指針2020							その他の計画との関連
重点施策名			指針体系コード				
市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援			2-1-41				
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度		
市民が自慢できるまちであること		3.5 点	3.4 点	3.4 点	3.5 点		
		点	点	点	点		

平成30年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
19,399 千円	報酬	8,814 千円	非常勤報酬(日額報酬)
	委託料	4,655 千円	藤沢市都市親善委員会委託料, ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会委託料
	補助金	250 千円	聶耳記念碑保存会補助金
	旅費	4,867 千円	費用弁償, 普通旅費, 特別旅費(姉妹友好都市への派遣)
	その他	813 千円	賃金, 報償費, 需用費, 役務費
【参考】 令和元年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
22,137 千円	報酬	9,224 千円	非常勤報酬(日額報酬)
	委託料	10,291 千円	藤沢市都市親善委員会委託料, ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会委託料
	補助金	250 千円	聶耳記念碑保存会補助金
	旅費	879 千円	費用弁償, 普通旅費, 特別旅費(姉妹友好都市への派遣)
	その他	1,493 千円	賃金, 報償費, 需用費, 役務費

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
正規職員等	2.00	2.50	2.40	2.40
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2.00	2.50	2.40	2.40

※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

平成30年度 事業実施 内容	①都市親善事業 「マイアミビーチ市との姉妹都市提携60周年記念」ブリッジミージャパンプロジェクト報告会（7月7日）・公式訪問団派遣（10月31～11月4日・6人）・昆明市公式訪問団派遣（4月12～15日・4人）・保寧市との青少年交流事業（派遣）（8月2～6日・14人）・湘南藤沢市民マラソンへの姉妹友好都市等招待（1月25～28日・14人） ②聶耳記念碑に関する事業 聶耳記念碑前祭（7月17日・参列者87人） 聶耳記念碑参拝者対応（9団体209人） ③ふじさわ国際交流フェスティバル（10月28日・14団体・4,000人）						
	指標名	単位	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	備考
成果目標	事業参加人数	人	10,450	10,500	10,500	5,000	令和元年度は藤沢駅北口改修中のため、ふじさわ国際交流フェスティバルの会場を変更予定。
	ホームステイ・ビジット登録家庭	世帯	36	41	41	41	
	聶耳記念碑参拝者数	人	260	270	270	270	
	参考又は上記指標名の設定ができない理由						
活動実績	指標名	単位	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	備考
	交流事業数	件	10	15	20	17	
	ホームステイ・ビジット制度の紹介	回	1	1	2	2	
	都市親善委員会の開催	回	3	3	2	2	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	事業参加人数	人	10,286	10,959	691	4988	平成29年度はふじさわ国際交流フェスティバル未実施だったが、平成30年度は、平成28年度以前とは異なる会場で実施した。
	ホームステイ・ビジット登録家庭	世帯	40	49	18	22	
	聶耳記念碑参拝者数	人	277	190	150	209	
数値で表せない効果							

4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	34,357	48,618	42,019	42,348	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	34,683	46,916	42,878	42,526	
	事業費(支出済額-②報酬合計)	15,589	22,802	19,678	19,399	
	償還金利息	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	19,094	24,114	23,200	23,127	
	職員数(常勤 非常勤)	2.00 0.00	2.50 0.00	2.40 0.00	2.40 0.00	
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167	
	①職員給与合計(常勤)	18,080	22,753	22,126	22,001	
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0	
	③退職金相当額	1,014	1,361	1,074	1,126	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-326	1,702	-859	-178	
	①減価償却費	81	81	81	81	
	②退職給与引当金繰入額	-407	1,621	-940	-259	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
④その他()	0	0	0	0		
行政収益(事業収入) B	15,589	22,802	19,678	19,399		
(3)現金を伴う収入 (千円)	15,589	22,802	19,678	19,399		
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0		
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0		
③国庫支出金	0	0	0	0		
④県支出金	0	0	0	0		
⑤その他(繰入金)	15,589	22,802	19,678	19,399		
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用)A-B E	18,768	25,816	22,341	22,949		
分析指標	項目	事業参加人数 F	10,286	10,959	691	4988
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		3,340.17	4,436.35	60,808.97	8,489.98
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		44.62 420,619	60.73 425,105	52.26 427,501	53.45 429,317
	受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00

※1 職員数・・・(常勤)一般職員,再任用職員,任期付職員,嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)
 ※2 人件費・・・(常勤)任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額
 ※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し,事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成29年度末時点の課題	藤沢市ホームステイ・ホームビジット制度における登録家庭の更新に当たり、登録家庭世帯数が減となった。また、荒天の影響により、ふじさわ国際交流フェスティバルが実施できなかった。
(2) (1)解決のための平成30年度の取組	藤沢市ホームステイ・ホームビジット制度における登録家庭世帯数の増に向けて、保寧市との青少年交流事業（派遣）に参加いただいた青少年及び保護者に制度を周知した。
(3) 平成30年度末時点の課題	社会の情勢等の様々な要因により姉妹友好都市等との調整がつかず、交流事業が一部実施できなかった。
(4) (3)解決のための今後の取組	一部実施ができなかった事業について、交流が途絶えてしまうことのないよう姉妹友好都市等との連絡を引き続き密に行い、今後の事業実施に繋げる。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠		
	<input type="radio"/>	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)		
	<input type="radio"/>	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間		
	<input type="radio"/>	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成30年度支出済額	
		<input type="radio"/>	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	
		<input type="radio"/>	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合			
<input type="radio"/>		ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上	

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
2. 市民等サービス(その他)	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	現在、国境を越えて人・物・情報がますます活発に動く時代を迎えており、来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、日本を訪れる外国人の数はさらに増加し、グローバル化が進展していくことが考えられる。また、「出入国管理及び難民認定法」の改正等により、外国人市民の人口の増加が予想されるため、国内外の情勢を注視し、柔軟な対応・判断をしていく必要がある。	
他市等の事例	神奈川県内では、本市を含む16市4町が49件の姉妹友好都市提携を行っている。近年では、こうした姉妹友好都市提携にとどまらず、それぞれの都市の目的にあった多様な形態での都市間連携・協力が行われている。	
市民ニーズ	把握方法	「藤沢市都市親善委員会」（市内団体等代表など20人） 年2～3回開催
	把握内容	都市親善事業の実施について、関係団体との連携の強化等をした方がよい。
	対応等	都市親善事業の実施に向けて、関係団体との連携を密に行う。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	姉妹友好都市等との調整がつかず、一部、未実施となった事業もあるものの、マイアミビーチ市との姉妹都市提携60周年記念派遣事業をはじめとした交流事業について、市民や関係団体等と連携・協力して実施することができた。また、姉妹友好都市との親善交流を深めるため、昨年度に引き続き、湘南藤沢市民マラソンへ国内外の姉妹友好都市を招待し、レース等への参加を通してスポーツ交流・文化交流及び市民交流を図るとともに、本市の地域文化を発信することができた。	
今後の方針	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
	事業の方向性	現状維持
	姉妹友好都市等との親善活動を通じ、教育・文化・産業・スポーツなどの交流を図り、市民相互の友好を推進していく。セーリングワールドカップ江の島大会や湘南藤沢市民マラソンへの姉妹友好都市招待をはじめ、来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、スポーツ交流・文化交流及び市民交流を通じて都市親善の推進を図る。	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
27	姉妹友好都市交流に関すること	無	無	1	3
28	藤沢市都市親善委員会事務局に関すること	無	無	1	
29	その他外事に関すること	無	無	1	3
30	団体予算の支出・収入に関すること	無	無	3	3
31	非常勤職員等の給与支払に関すること	無	無		1
32	藤沢市グローバルビジョン推進に向けた取り組み	無	無		
33	各種団体との連携に関すること	無	無	1	3
34	国際交流フェスティバルに関すること	無	無	3	3
35	団体予算の支出・収入に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満、レベル2は10%以上30%未満、レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響、レベル2は部内への影響、レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	企画政策部	氏名	関口 隆峰	確認日	2019/8/23
----	-------	----	-------	-----	-----------